

各自治体関係者・観光振興に関わる皆様 各位

株式会社リクルートライフスタイル
代表取締役社長 浅野 健
執行役員 旅行領域担当 宮本 賢一郎
じゃらんリサーチセンター センター長 沢登 次彦

オンラインセミナー開催のお知らせ（参加費無料） じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2020」 ～観光変革期、地域単位で取り組むべき戦略テーマとは～

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症による地域・観光への多大なる影響に、皆様、日々奮闘されていることと存じます。
じゃらんリサーチセンター（以下、JRC）では
例年各地で開催していた「観光振興セミナー」を、本年は「オンラインセミナー」としてお届けさせていただきます。
一日でも早い地域および観光の需要回復にお役立ていただけますようお願い申し上げます。
本セミナーは、**事前お申込みいただいた方のみ限定公開のオンラインセミナー**となります。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

【オンラインセミナー日時】

- ・下記日程で**リアルタイム配信**を行います（各日で限定3,000名まで聴講可能）
- ・事前お申込者様のみ、セミナー開催日の数日前に当日視聴用URLをメールでお送り致します

■第1回 2020年 7月28日（火） 13:00～16:50 終了予定 ※3日間共通

■第2回 2020年 8月4日（火）

■第3回 2020年 8月19日（水）

【お申込み〆切】 2020年 7月20日（月） 23:59まで

【本セミナーのポイント】

- オンラインにて、全3日間のプログラムで展開。単日のみ、または3日間通しの応募も可能です。
事前申込をいただいた方には、後日「見逃し配信（録画コンテンツ）」を期間限定でご提供する予定です。
- 今年で16回目を迎えるJRC基幹調査「じゃらん宿泊旅行調査2020」の最新データ分析とともに
新型コロナウイルス感染症による旅行市場への影響と回復ステップを考えるための独自調査結果も公開。
WithコロナからAfterコロナを見据えた地域の戦略立案に役立つ分析・提案を提供します。
- 観光変革期のいま、地域単位で改めて取り組むべきテーマとして
DMO・地域組織の観光マーケティング、インバウンド需要創造メカニズム、
グルメ・着地型観光体験・宿泊業の先進地域事例、等、JRC研究結果を日替わりでお届けします。

→お申込み方法・プログラム詳細は、次ページ以降をご覧ください

主催：株式会社リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター
後援：国土交通省 観光庁

●開催概要●

オンラインセミナー じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2020」 ～観光変革期、地域単位で取り組むべき戦略テーマとは～

1. オンラインセミナー日時

下記日程でリアルタイム配信を行います。

- 第1回 2020年 7月28日(火) 13:00～16:50 終了予定 ※3日間共通
- 第2回 2020年 8月 4日(火)
- 第3回 2020年 8月19日(水)

2. 参加費 無料

3. セミナープログラム内容

各日プログラム内容が異なります。次ページ以降で詳細をご確認の上、ご希望の日程をお申してください。

4. 申込方法

じゃらんリサーチセンターホームページよりお申込みください。

■【お申込み〆切】 2020年 7月20日(月) 23:59まで

■「観光振興セミナー2020」お申込ページ <https://jrc.jalan.net/seminar/3357/>

<アクセス手順>

- ①WEBブラウザにて、「じゃらんリサーチセンター」と検索
- ②トップページ 右上の「セミナー」タブをクリック
- ③「観光振興セミナー」一覧から

[【お知らせ】観光振興セミナー2020を開催いたします](#)をクリック



※右記QRコードからも、ページへアクセス可能。読み取れない場合は上記URLからアクセスください

5 セミナー当日の視聴方法について

- ・本セミナーは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「オンラインでの聴講」となります。
- ・PC・スマートフォンにて、開催当日にリアルタイムでのストリーミング配信を予定しております。
(PC・スマートフォンのWEBブラウザ上で視聴可能な方法を予定しています)
- ・事前にお申込みいただいた方には、セミナー開催日の数日前に当日視聴用URLをメールでお送りします。
- ・事前お申込者様のみ、見逃し配信(録画コンテンツ)も期間限定で視聴可能です。

●本セミナーへのお問合せについて●

事務局メール : jalan_rc@r.recruit.co.jp

→担当 : 久保田、田村 (対応時間 平日10:00～18:00)

【お願い】メールでお問合せの際は以下をご記載ください。事務局より後ほどご連絡いたします。

- ・メールタイトル = 「セミナー問合せ」
- ・メール本文 = 社名・団体名/お名前/メールアドレス/電話番号/問合せ内容を記載

※応募期間中、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事務局はリモート対応となります。
お問合せの回答にお時間をいただく可能性があります。ご不便をおかけし申し訳ありません。
※お電話での問い合わせ対応は行っておりません。ご了承ください。

●プログラム1日目【2020年7月28日（火）13:00～16:50終了予定】

別紙1-1

| 時間 | テーマ | 内容 | 話者 |
|-------------|--|--|--------------------------------------|
| 13:05～13:10 | 開催のご挨拶 | | 執行役員 宮本 賢一郎 |
| 13:10～13:25 | 国土交通省 観光庁より、「現状の観光政策について」 | | 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 飛田 章様 |
| 13:25～14:15 | 「じゃらん宿泊旅行調査2020」 「新型コロナウイルス感染症の 旅行市場への影響」調査より 2019年度の国内宿泊旅行実態 と旅行需要の変化 【関東甲信越／北陸エリア編】 | 今年で16回目の実施となるじゃらんリサーチセンターの基幹調査、最新データのご紹介と分析結果をご報告いたします。2020年、観光に大きな被害をもたらした新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、その旅行市場への影響について、当該調査データおよび新規の独自調査から得られた知見をあわせて公開。WithコロナからAfterコロナを見据えた、具体的な地域の戦略立案にぜひお役立てください。 ※「じゃらん宿泊旅行調査」は関東甲信越／北陸エリアの分析結果を加えてご紹介します | センター長 沢登 次彦 |
| 14:15～14:55 | 新型コロナウイルス状況下でどう対応する？ 予期せぬ危機でも役立つ 地域での観光マーケティング実践法とは？ ～DMOの先進マーケティング戦略実践事例～ | 地域DMOが地域で実践すべきマーケティングの役割とは？どんな結果を地域に生むのか？コロナ禍や危機的状況で、地域のDMOが果たす役割とは？「気仙沼クルーカード」など先進的な取り組みを推進する【宮城県気仙沼市】の最新の事例をベースに、今話題のマイクロツーリズムへの取り組み方や地域DMOのマーケティング戦略の推進プロセスやDMO法人の自主財源の作り方を解説します。 | 研究員 森 成人 |
| 14:55～15:25 | いずれ回復するインバウンドニーズに向け 今からできる地域の備えとは？ 最先端・インバウンド向け 地域コンテンツ造成ポイント | 次年度以降回復が想定されるインバウンド需要を受け入れる準備として、JRCが事業運営を行った観光庁「最先端インキュベーター事業」ナレッジ集から学ぶ、今年度～次年度に向けたステップの踏み方と、地域でのオリジナルコンテンツの生み出し方についてご紹介します。 | 地域創造部 総合企画グループ マネージャー 平山 圭介 |
| 15:25～16:05 | 地域資源を人の力で観光資源に！ 持続する「売れるご当地グルメ」とは？ | 4年前まで、その地域に存在しなかった地域資源を、たった3年で2億円以上売り上げた「ご当地グルメ」があります。事例を基に、売れるグルメの作り方と推進方法についてお話しします。 | ご当地グルメ 開発プロデューサー 田中 優子 |
| 16:05～16:40 | 農山漁村と都市部企業のマッチングによる 持続可能な地域づくりのポイント | 農山漁村地域の課題や資源と、都市部企業人材のマッチングを通じた関係人口創出による持続可能な地域づくりにチャレンジしています。訪れた人が共に地域の未来を考える仲間になっていくためのプロセスやポイントを、宮城県での実践事例を基にお伝えします。 | 「ジバ観」研究 プロジェクトチーム 荒川 崇志 |
| 16:40～16:50 | 今後のじゃらんリサーチセンターの 活動について | じゃらんリサーチセンターは観光振興に携わる皆様立場に立って、観光を産業として発展させていくための道筋を探索していきます。今後に向けての活動方針をご説明させていただきます。 | センター長 沢登 次彦 |

●プログラム2日目【2020年8月4日（火）13:00～16:50終了予定】

| 時間 | テーマ | 内容 | 話者 |
|-------------|---|---|-------------------------------------|
| 13:05～13:10 | 開催のご挨拶 | | 執行役員 宮本 賢一郎 |
| 13:10～13:25 | 国土交通省 観光庁より、「現状の観光政策について」 | | 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 飛田 章様 |
| 13:25～14:15 | 「じゃらん宿泊旅行調査2020」 「新型コロナウイルス感染症の 旅行市場への影響」調査より 2019年度の国内宿泊旅行実態 と旅行需要の変化 【東海／関西／中四国エリア編】 | 今年で16回目の実施となるじゃらんリサーチセンターの基幹調査、最新データのご紹介と分析結果をご報告いたします。2020年、観光に大きな被害をもたらした新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、その旅行市場への影響について、当該調査データおよび新規の独自調査から得られた知見をあわせて公開。WithコロナからAfterコロナを見据えた、具体的な地域の戦略立案にぜひお役立てください。 ※「じゃらん宿泊旅行調査」は東海／関西／中四国エリアの分析結果を加えてご紹介します | センター長 沢登 次彦 |
| 14:15～14:55 | 地域、住民、旅行者の「三方よし」を目指す サービス・マーケティングの観点から科学する 観光の新たなプロフィットチェーン | 新型コロナウイルス感染症による観光への被害は甚大ですが、地域にとっては観光開発の道を溯り生まれ変わるチャンスでもあります。そのためにはマクロな視点で地域の全体最適を考え直す必要があります。本テーマでは地域全体をサービス商材として捉え、観光マーケティングの難易度や特異性をわかりやすく整理し、次世代の観光施策のあるべき方針を考えていきます。 | 研究員 森戸 香奈子 |
| 14:55～15:25 | 低迷期でも観光消費を継続するために 近隣県からも愛される観光資源とは？ マイクロツーリズムに効く観光の仕掛け | コロナ禍で一変した観光の形。インバウンド・首都圏など「遠方より地域へ呼ぶ」ことがままならない時期が続いています。徐々に緩和されつつある旅行ですが、もしまだ行動範囲を限定されるときの来たら？地域住民・県内・隣県など同一又は近い経済圏の需要に対して今一度観光資源を掘り起こし、withコロナ期にも活用できる地域観光の仕掛けをご紹介します。 | 地域創造部 中日本グループ マネージャー 川波 佑吉 |
| 15:25～16:05 | 先行きの見えない時代に 未来のあたりまえを創る 「コ・クリエイション」12の智慧 | これまでのやり方や課題解決法だと突破できないと感じる方へ。変革期を見据え、「未来のあたりまえ」を共創し、大転換を起こす方法を10年研究してきたコクリ！。地域・社会変容の12の智慧、共創を生む土壌の3原則等、10年の智慧を凝縮した小冊子「コクリ！百色絵巻」をPDFで贈呈します。 | 研究員 三田 愛 |
| 16:05～16:40 | 地域滞在時間＆消費額拡大、 魅力再発見を実現するために 着地型体験「まち歩きクーポン」の 先進・実践事例 | 地域の魅力を体感する着地型商品造成に取り組み中、利用・販売促進手法の1つに「まち歩きクーポン」があります。JRCが地域とともに取り組んだ【三重県伊勢市】、【石川県加賀市】での実践例をベースに、商品化のノウハウと、クーポンによる利用促進のナレッジをご紹介します。現状の旅行需要変革期を意識した、地域単位の取り組み方についても言及します。 | 研究員 齋藤 晋作 |
| 16:40～16:50 | 今後のじゃらんリサーチセンターの 活動について | じゃらんリサーチセンターは観光振興に携わる皆様立場に立って、観光を産業として発展させていくための道筋を探索していきます。今後に向けての活動方針をご説明させていただきます。 | センター長 沢登 次彦 |

●プログラム3日目【2020年8月19日（水）13:00～16:50終了予定】

別紙1-2

| 時間 | テーマ | 内容 | 話者 |
|-------------|---|---|-------------------------------------|
| 13:05～13:10 | 開催のご挨拶 | | 執行役員 宮本 賢一郎 |
| 13:10～13:25 | 国土交通省 観光庁より、「現状の観光政策について」 | | 観光庁 観光地域振興部 観光資源課長 飛田 章様 |
| 13:25～14:15 | 「じゃらん宿泊旅行調査2020」 「新型コロナウイルス感染症の 旅行市場への影響」調査より 2019年度の国内宿泊旅行実態 と旅行需要の変化 【北海道／東北／沖縄県／九州エリア編】 | 今年で16回目の実施となるじゃらんリサーチセンターの基幹調査、最新データのご紹介と分析結果をご報告いたします。2020年、観光に大きな被害をもたらした新型コロナ感染症（COVID-19）、その旅行市場への影響について、当該調査データおよび新規の独自調査から得られた知見をあわせて公開。WithコロナからAfterコロナを見据えた、具体的な地域の戦略立案にぜひお役立てください。 ※「じゃらん宿泊旅行調査」は北海道／東北／沖縄県／九州エリアの分析結果を加えてご紹介します | センター長 沢登 次彦 |
| 14:15～14:55 | インバウンド回復期に備えて今やるべきことは？ 外国人が共感する地域コンテンツを見つけて デジタル発信するインバウンド実践事例 | コロナ影響で縮小したインバウンド市場に対して、回復ステップとともに誘客戦略の見直しや、量から質へ変化の対応が求められています。「地域の良さを共感してくれる外国人はどんな人なのか？」「消費につながる魅力あるコンテンツの見つけ方は？」「デジタルを活用してどう発信するべきか？」について、実証実験の事例とともに解説します。 | 研究員 松本 百加里 |
| 14:55～15:25 | 観光客を可視化する！ 未来のロイヤルカスタマーを掴む 新・地域戦略 | 今後の地域に必要なこと、それは「リピート戦略」。繁盛している飲食店や宿泊施設が行っているこの戦略が、「地域」としてはあまりできていません。訪れた「地域」にもう一度来訪したくなる仕掛けとは何か。「ピーターの多い「地域」はどのような方法で、来訪者の情報を掴み、来訪者へ必要な情報を届けているのか。その最新事例について紹介します。 | 地域創造部 西日本グループ マネージャー 高橋 佑司 |
| 15:25～16:05 | 今こそ考えたい、地域とともに挑戦し続ける 持続可能な宿泊業の未来と イノベーションの可能性 | 時代の大変革期に、未来に向けた挑戦の一步を踏み出した地域の宿泊業が、イノベーションを起こすために取り組むべき施策とは。日本固有の旅館が持つ独自性・強みとは何か。【地域単位】で、持続可能な宿泊業の実現を目指すための策と、実践事例について紹介します。 | 主席研究員 北嶋 緒里恵 |
| 16:05～16:40 | 「食の地域連携」実践事例 ～新・ご当地グルメネットワークあおもりの挑戦～ | 2020年夏、トータル人口約4万1000人の青森県5町村(深浦町、平内町、中泊町、田子町、東通町)が開発した新・ご当地グルメの累計食数が50万食を超える見込みです。5町村は各々どんな取り組みを行い、地域を超えた関係性(広域連携)をどう構築したのでしょうか。 | 客員研究員 ヒロ 中田 |
| 16:40～16:50 | 今後のじゃらんリサーチセンターの 活動について | じゃらんリサーチセンターは観光振興に携わる皆様様の立場に立って、観光を産業として発展させていくための道筋を探索していきます。今後に向けての活動方針をご説明させていただきます。 | センター長 沢登 次彦 |

●以下テーマは動画コンテンツとして期間内配信予定（リアルタイム講演ではありません）

| テーマ | 内容 | 話者 |
|---|--|-------------------|
| ～観光変革期のいま、若年層需要が鍵になる～ プロジェクト発足から10年 「マジ☆部」の挑戦 | 現在、地域のマーケティング戦略を考え直す機会が訪れています。その中で注目したいのが若年層マーケット。トレンド変化が著しい若者に対して、どのように向き合っていけば良いか？「雪マジ！19」「お湯マジ！」等、10年にわたって若年層需要創出に挑み続ける「マジ☆部」で見つけたマーケット開拓のヒントをご紹介します。 | 「マジ☆部」担当 石塚 貴也 |
| 公民連携で生み出す、 遊休資産を活用した観光体験の開発手法 | かつて栄えた温泉施設、キャンプ場などを活用して地域一帯で新たな価値を生み出す手法とは？本研究では長門市×星野リゾートによる温泉街の再生事例、軽井沢町×ライジングフィールドによる国有林を活用した自然体験施設など公民連携の取り組みをご紹介します。 | 客員研究員 幸田 泰尚 |
| 株式会社リクルートライフスタイル沖縄の 最新の取り組み内容報告 | じゃらん net における沖縄最新動向と、沖縄県内の観光振興に向けた取り組み事例をご紹介します。 | 代表取締役社長 有木 真理 |

●登壇者プロフィール

**じゃらんリサーチセンター
センター長
沢登 次彦**

じゃらんリサーチセンター長、とーりまかし編集長。1993年入社。教育機関広報事業部を経て2003年4月に旅行事業（現（株）リクルートライフスタイル）へ。関東近郊観光地のエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。2007年4月より現職。観光庁をはじめ中央省庁や地方自治体の各種審議会委員を務める。

**主席研究員
北嶋 緒里恵**

2009年よりじゃらんリサーチセンターに配属。各地にて自治体とともに観光による地域活性化事業を実施、主にプランニングを担当。2014年研究員に着任。2017年4月より、じゃらんリサーチセンター調査開発グループのグループマネージャー、主席研究員に着任。現在、主として「宿泊業の持続可能な経営改革」等を研究。その他、新たな旅行需要発掘のためのマーケティング調査・研究等を担当。

**研究員
齋藤 晋作**

前職はディレクターとしてテレビ番組制作に従事。2012年に株式会社リクルートへ入社。ホットペッパーグルメの広告営業や企画スタッフを担当。2015年にじゃらんリサーチセンターへ異動し、東海エリアのエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。その後、北陸エリアの担当及びチームリーダーを経て、2020年4月より着地型観光に関する研究を担当。

**研究員
三田 愛**

人材育成・組織変革を専門とし、2011年より「コ・クリエーション（共創）研究」開始。自身が創発ファシリテーターを務め、垣根を越えた連携「みんなゴト」化と、事業創造「地域イノベーション」を促進し、自走型の地域活性を実現。その後、地域リーダー・首長・経営者・官僚・農家・クリエイター・教授等、多様な300名のコミュニティを創り、社会変容を研究。米国CTI認定プロフェッショナル・コーチ。経済産業省や国土交通省の委員を歴任。

**研究員
松本 百加里**

2011年から旅行領域の自治体におけるプロモーション設計、イベント企画、クリエイティブ制作などディレクターとして活動。その後、宿泊事業者向け業務支援サービスの調査、着地型旅行体験や飲食店のインバウンド領域における商品開発を実施。2015年から中国人の旅行動向調査、中国人向け予約代行センターの設計・立ち上げ、中国メディアのプロモーションプランナーとして従事。2018年より、インバウンドに関する研究を担当。

**研究員
森戸 香奈子**

調査担当、研究冊子「とーりまかし」デスク。1998年入社。株式会社リクルートリサーチにて調査の設計および分析を担当。業界紙、マーケティング書籍など執筆活動も行う。じゃらん編集部、広告制作を経て2007年4月より現職。「じゃらん宿泊旅行調査」「2030年観光の未来需要予測研究」など担当。海外旅行領域「エイビーロード・リサーチ・センター」兼務。近著に「マーケティング・リサーチ入門～『調査』の基本から『提言』まで」（東京図書）

**研究員
森 成人**

1999年入社。新規事業開発の仕事を経て、2013年4月より経済同友会の被災地支援プロジェクトにて被災地気仙沼市へ出向。被災地の復興のため、地元人材育成や観光振興、6次産業化など現地の仮設住宅に住みながら地域活性に携わる。2017年4月からは気仙沼に設立するDMO法人（一社）気仙沼地域戦略の理事、気仙沼市復興アドバイザーも務める。
また2018年12月より観光庁専門家派遣事業に専門家として登録。

**「マジ☆部」担当
石塚 貴也**

2014年リクルートキャリア入社後、人事部、新規事業部、新卒向けサービスの部署を経て、2020年4月より現職。「マジ☆部」では主に全体集客設計やSNS活用、「お湯マジ!」「ゴルフマジ!」「マジ!」を中心に担当し、他領域での若年層マーケティングの知見を活かしながら、各業界と「マジ☆部」の更なる発展に尽力中。

**ご当地グルメ
開発プロデューサー
田中 優子**

2003年リクルート入社。旅行事業部にて、兵庫県北部を9年間担当。約300件ほどの宿泊施設や観光施設の集客コンサルティング営業を経験。2013年より、じゃらんリサーチセンター兵庫県エリアプロデューサーに。地域課題を解決すべく数多くの事業を実施。中でも「地域資源を人の力で観光資源に」、地域の皆さんと一緒に、数多くのご当地グルメ開発・推進を行う。2020年4月より現職。その他、兵庫県商工会連合会の課題別専門家・兵庫県立但馬技術大学の非常勤講師なども務める。

●登壇者プロフィール

客員研究員
幸田 泰尚

2007年リクルートコミュニケーションズ中途入社。SUUMO立ち上げ期より大手不動産会社のマーケティングに携わる。2015年よりリクルートホールディングス新規事業開発室プロデューサーとして「地方創生プロジェクト」をじゃらんリサーチセンターと協働で推進。高知県、長野県塩尻市と包括連携協定を締結し、自治体職員と市民の参加型で地域課題解決に取り組む事業開発手法をプロデュース。2018年リクルート退社後、同年8月より現職。

客員研究員
ヒロ中田

「空飛ぶご当地グルメプロデューサー」として、地場産食材に徹底的にこだわった企画開発型の「新・ご当地グルメ」「新・ご当地みやげ」を全国で80品以上商品化。手がけた商品は、「富良野オムカレー」「深浦マグロステーキ丼」「那須の内弁当」「佐渡天然ブリカツ丼」「館山炙り海鮮丼」「加賀パフェ」「有田焼五膳」「日南一本釣りカツオ炙り重」「いづみ親子ステーキごはん」等々。青森県平内町では新・ご当地レストラン「ホタテ一番」をプロデュース。「コンセプトが一番！」が持論。

「ジバ観」研究
プロジェクトチーム
荒川 崇志

2010年より京都府庁に入庁し、住民との協働による地域づくりを推進する事業に従事する。場づくり（ワークショップ）のスキルを活かし京都府内の各地域で関係性構築、アクション創出、組織づくりを行った。京都府庁退庁後は、協働による地域づくりに加えて、行政・企業での研修、イノベーション創出、観光地域づくりに取り組むなど、セクターや分野を広げながら活動をしている。

「ジバ観」研究
プロジェクトチーム
平澤 勉

1999年に大手自動車会社に入社し、製品開発やプロジェクトマネジメントに従事する傍ら、企業内人材育成や組織開発に関わる研修、ワークショップの実施や企業内コミュニティ生成に取り組む。2015年に独立し、現在は全国各地の組織開発コンサルティングや「ジバ観」を通じた観光地域づくりのプロジェクトファシリテーターを実施。近年は地元神奈川の首我梅林で梅農家と共に持続可能な里山地域づくりに取り組んでいる。

地域創造部
総合企画グループマネージャー
平山 圭介

2018年より、株式会社リクルートライフスタイルに中途入社、じゃらんリサーチセンターに配属。前職では、(株)リクルートスタッフィングにて法人向け人材サービスの営業マネージャー、自社の採用マネージャーを務める。JRCでは、渋谷区キャッシュレス推進事業、最先端インキュベーター事業、宿泊業における人材不足解決のための就労促進事業等を担当。

地域創造部
中日本グループマネージャー
川波 佑吉

2006年新卒入社。人事での採用・能力開発を担当後、2009年よりじゃらんにて黒川温泉エリア等の宿泊施設担当へ。2012年よりJRCのエリアプロデューサーに着任。九州・東海北陸エリア・関東エリア及び国事業を歴任し、観光計画策定・コンテンツ造成・地域の若者活用・農山漁村振興などの事業を実施。2016年より企画推進グループマネージャーとして、エリア活性化事業の企画、西日本豪雨・北海道地震・令和台風にて復興支援事業を推進。2020年4月より現職およびコロナ復興支援プロジェクトを兼任。

地域創造部
西日本グループマネージャー
高橋 佑司

2006年入社。飲食情報事業部にて市場開発や富裕層をターゲットにした雑誌の創刊等を担当。2011年東京スカイツリー開業に向け、墨田区観光協会へ出向。2013年よりじゃらんリサーチセンター配属。首都圏・関西圏の地域活性を担当。2017年より西日本エリア全体を管轄。観光地調査分析・訪日外国人受入環境整備・コンテンツ造成・人材育成等の事業を実施。地域主体の持続可能な観光地のあり方を常に模索する。観光に関する各種委員を務める。

株式会社
リクルートライフスタイル沖縄
代表取締役社長
有木 真理

某外食チェーン現場マネージャー・人事(採用教育課)、フリーランスのフードコーディネーターを経て、2003年リクルート入社「ホットペッパーグルメ」へ。ホットペッパー・吉祥寺版編集長や営業マネージャー、営業部長などを歴任。2014年にはトレンド座談会座長を兼任。2017年に株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役に就任。ホットペッパーグルメ外食総研 上席研究員、じゃらんリサーチセンター研究員を兼任。

地域創造部
部長
田中 政宏
(本セミナーファシリテーター)

観光・地域振興支援を担当する観光庁などの中央省庁、全国の地方自治体の営業責任者。2007年に株式会社リクルート中途入社。じゃらんリサーチセンターでエリアプロデューサー、マネージャーとしてエリア活性に携わった後、法人向出張サービス(じゃらんコーポレートサービス(JCS))責任者を歴任。2020年4月より現職。